

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月4日

上場会社名 株式会社アーク 上場取引所 東
 コード番号 7873 URL http://www.arrk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 康夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長 (氏名) 神谷 達郎 TEL 06-6260-1040
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	10,454	△2.2	36	△66.4	△291	—	△422	—
28年3月期第1四半期	10,693	△11.1	107	△68.8	19	△93.4	△131	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △1,275百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △367百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△1.19	—
28年3月期第1四半期	△0.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	36,868	26,724	72.5	49.40
28年3月期	39,871	28,549	71.6	54.89

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 26,724百万円 28年3月期 28,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	△3.3	2,550	2.9	2,300	1.3	1,250	14.7	3.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	338,657,431株	28年3月期	338,657,431株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	6,403,866株	28年3月期	6,415,766株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	332,243,179株	28年3月期1Q	333,913,565株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、前記の業績予想とは大きく異なることがありうることをご承知ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国では景気拡大が続き、欧州においては緩やかな回復が持続しましたが、6月に英国のEU離脱が決定されたことで、先行き不透明感が急速に高まりました。一方、中国を含む新興国においては景気が緩やかに減速し、総じて弱い動きとなりました。国内経済においては個人消費に底堅い動きが見られたものの、英国のEU離脱決定による影響や、新興国における景気の下振れ懸念等から円高株安が進行しており、先行き不透明感が強まっております。

このような状況のもと、当社はグローバル事業を拡大して成長することを目指し、連結経営管理体制の強化などの諸施策を講じてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は10,454百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益は36百万円(前年同期比66.4%減)となりました。さらに、為替はユーロに対し円高となり、為替差損292百万円を計上した結果、経常損失は291百万円(前年同期は経常利益19百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は422百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失131百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① オートモーティブ事業

オートモーティブ事業におきましては、国内では、円高の進行により輸出企業の業績が先行き不透明なこと等から、開発投資の出足は遅く、またまだら模様を呈しており、減収減益となりました。一方、海外では、欧州は一部部門が低迷したものの、欧州全体では好調に推移いたしました。アジアではタイ国内の新車販売の低迷により用品事業が低調であったものの、中国では試作事業が堅調に推移しました。これらの結果、売上高6,139百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益274百万円(前年同期比27.2%減)となりました。

② エンジニアリング事業

エンジニアリング事業におきましては、国内では、解析エンジニアリング事業の顧客への浸透により、受注量は増加傾向にあります。一方、欧州では受注量は増加したものの、円高による為替差のため減収となりました。また、ドイツでの派遣法改正に対応するため、派遣型ビジネスから請負型ビジネスへの事業構造の改革を進めており、このための投資や費用が増加しましたが、生産効率等の改善により収益改善を進めました。これらの結果、売上高2,633百万円(前年同期比5.2%減)、営業損失79百万円(前年同期は営業損失112百万円)となりました。

③ コンシューマー事業

コンシューマー事業におきましては、国内では、車載等の民生分野での新規開発の遅れ、アミューズメントメーカーの新機種開発の減少等により、減収減益になりました。一方、海外では、欧州、台湾において試作事業が堅調に推移いたしました。これらの結果、売上高2,152百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益83百万円(前年同期比31.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当連結会計年度末における総資産は36,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,003百万円減少いたしました。項目別では、流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,359百万円減少し、23,115百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,718百万円、受取手形及び売掛金が1,259百万円減少したものの、仕掛品が234百万円及びその他流動資産が403百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ644百万円減少し、13,752百万円となりました。これは、有形固定資産が173百万円増加したものの、無形固定資産が37百万円及び投資その他の資産が780百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,178百万円減少し、10,144百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が441百万円、未払法人税等が149百万円、前受金が276百万円及び賞与引当金が248百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,825百万円減少し、26,724百万円となりました。これは主に、利益剰余金が972百万円、その他有価証券評価差額金が53百万円及び為替換算調整勘定が799百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月8日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,738	8,019
受取手形及び売掛金	11,284	10,024
電子記録債権	975	1,030
商品及び製品	223	279
仕掛品	503	738
原材料及び貯蔵品	840	793
繰延税金資産	466	370
その他	1,664	2,068
貸倒引当金	△221	△209
流動資産合計	25,474	23,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,391	6,247
減価償却累計額	△3,872	△3,843
建物及び構築物(純額)	2,519	2,403
機械装置及び運搬具	10,208	9,878
減価償却累計額	△6,058	△5,924
機械装置及び運搬具(純額)	4,150	3,953
工具、器具及び備品	3,166	2,961
減価償却累計額	△2,147	△1,986
工具、器具及び備品(純額)	1,018	974
土地	2,459	2,430
建設仮勘定	850	1,408
有形固定資産合計	10,998	11,172
無形固定資産		
のれん	1,042	1,000
その他	699	704
無形固定資産合計	1,741	1,704
投資その他の資産		
投資有価証券	1,105	307
繰延税金資産	64	74
その他	488	495
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,656	876
固定資産合計	14,396	13,752
資産合計	39,871	36,868

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,519	3,078
短期借入金	54	38
1年内返済予定の長期借入金	152	141
リース債務	146	132
未払金	845	896
未払法人税等	274	125
未払費用	872	788
前受金	1,571	1,294
賞与引当金	818	569
その他の引当金	86	83
繰延税金負債	4	2
その他	1,025	1,147
流動負債合計	9,371	8,297
固定負債		
長期借入金	10	—
リース債務	138	100
繰延税金負債	1,383	1,300
再評価に係る繰延税金負債	12	12
退職給付に係る負債	247	260
株式給付引当金	6	17
その他の引当金	81	77
その他	69	77
固定負債合計	1,951	1,846
負債合計	11,322	10,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	11,657	11,658
利益剰余金	14,676	13,704
自己株式	△198	△198
株主資本合計	28,134	27,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	42
土地再評価差額金	△160	△160
為替換算調整勘定	477	△322
その他の包括利益累計額合計	413	△439
新株予約権	1	—
純資産合計	28,549	26,724
負債純資産合計	39,871	36,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	10,693	10,454
売上原価	8,484	8,271
売上総利益	2,208	2,183
販売費及び一般管理費	2,100	2,147
営業利益	107	36
営業外収益		
受取利息	4	4
持分法による投資利益	14	4
貸倒引当金戻入額	0	7
その他	14	13
営業外収益合計	34	29
営業外費用		
支払利息	8	5
為替差損	91	292
その他	21	59
営業外費用合計	121	357
経常利益又は経常損失(△)	19	△291
特別利益		
固定資産売却益	20	4
特別利益合計	20	4
特別損失		
固定資産除売却損	1	6
特別損失合計	1	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	39	△294
法人税、住民税及び事業税	53	94
法人税等調整額	131	33
法人税等合計	184	128
四半期純損失(△)	△145	△422
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△131	△422

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△145	△422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△53
為替換算調整勘定	△253	△797
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△2
その他の包括利益合計	△222	△853
四半期包括利益	△367	△1,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△356	△1,275
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	オートモーテ ィブ事業	エンジニアリ ング事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,926	2,777	1,988	10,693	—	10,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	1	65	129	△129	—
計	5,989	2,778	2,054	10,822	△129	10,693
セグメント利益 又は損失(△)	377	△112	121	386	△278	107

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△278百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△285百万円、セグメント間取引消去による発生額6百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	オートモーテ ィブ事業	エンジニアリ ング事業	コンシューマ ー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,875	2,629	1,949	10,454	—	10,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	264	3	203	471	△471	—
計	6,139	2,633	2,152	10,925	△471	10,454
セグメント利益 又は損失(△)	274	△79	83	278	△242	36

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△242百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△241百万円、セグメント間取引消去による発生額△1百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。